第 19 講 【現代編】世界恐慌と第二次世界大戦
PART1 世界恐慌とその影響

Chapter 1　世界恐慌とアメリカの対応

目標
世界恐慌が発生したきっかけを学ぼう。
ニューディール政策でとられた対策を知ろう。

1　世界恐慌の発生

1929 年 10 月　ウォール街の**ニューヨーク株式市場で株価が大暴落**

→アメリカの恐慌が世界に波及，〔　　　　　　　　　　〕がおこる

※工業生産の低下，企業の倒産，商業・貿易の不振，失業者の激増など。

※最初に暴落のあった 10 月 24 日を**「暗黒の木曜日」**と呼ぶ。

1931 年　フーヴァー大統領が〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を実施

※恐慌対策として，ドイツの賠償金と対米戦債の支払いを 1 年間猶予。

→状況は好転せず，恐慌を回復することはできなかった

「暗黒の木曜日」

2　アメリカの恐慌対策

1933 年　民主党の〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が大統領に就任。

経済復興政策〔　　　　　　　　　　　　　　〕（新規まきなおし）を推進

①ニューディール

A 〔　　　　　　　　　　〕（**AAA**）の制定

補償金と引き換えに農産物の生産を制限，農産物価格の引き上げを図る

B 〔　　　　　　　　　　　　　　〕（**NIRA**）の制定

企業生産の抑制，企業の協定，労働者の団結権と団体交渉権を承認する

→ 1935 年に最高裁判所から違憲判決を受ける

C 〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（TVA）の設立

テネシー川流域で大規模な公共事業（ダム建設など）に着手，雇用の拡大を図る

D 〔　　　　　　　　　　〕の制定

全国産業復興法に代わり，労働者の団結権と団体交渉権を保障

→労働運動が活発になり，**産業別組合会議**（CIO）が成立

E **金本位制**の停止

金を貨幣価値の基準とする金本位制から離脱し，政府が貨幣の流通量を管理する管理通貨制度へ移行

②ローズヴェルト大統領の外交

A 1933 年，対立していた**ソ連**を承認

※ソ連の市場開拓を期待して承認，翌年ソ連は国際連盟に加盟した。

B 〔　　　　　　　　〕の展開

カリブ海政策を改め，ラテンアメリカ諸国との関係改善に努める

→ 1934 年，プラット条項を廃止して**キューバの独立**を承認

C 1934 年，10 年後のフィリピンの独立を認める**フィリピン独立法**の制定

D 1935 年，**中立法**を制定し，交戦国への武器，軍需品の売却を禁止

まとめ

ニューヨークのウォール街で株価が暴落し，世界恐慌に発展した。

農業調整法や全国産業復興法で生産の抑制などが行われたほか，テネシー川流域開発公社を設立して失業者に対応した。

Chapter 2　イギリスとフランスのブロック経済

目標
イギリスが世界恐慌にどのように対応したのかをおさえよう。
ドイツのファシズムへのフランスの対応策を理解しよう。

1　イギリスの恐慌対策

1929 年　**第二次マクドナルド内閣**（労働党単独内閣）成立

1931 年　〔　　　　　　　　　　〕首相が，失業保険の給付削減を提案

→与党の労働党が反対して首相が離党

1931 年　マクドナルドが保守党，自由党と結び，**挙国一致内閣**を組織

→失業保険の給付削減，〔　　　　　　　　〕の停止を実施

1931 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

※本国と自治領が対等な関係であることを法制化。

→イギリス帝国が**イギリス連邦**に再編される

1932 年　カナダで〔　　　　　　　　　　　　〕（イギリス連邦経済会議）を開催

※本国と植民地が相互に特恵を与え，他国製品に高関税を課す

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を形成。

※排他的な経済圏を形成する〔　　　　　　　　　　〕の先駆け。

→これを機に，アメリカが**ドル = ブロック**，フランスが**フラン = ブロック**を形成

2　フランスの人民戦線

1920 年　フランス社会党から左派が分離して，フランス共産党が成立

1933 年　自国の植民地を囲い込み，〔　　　　　　　　　　　　　　〕を形成

1935 年　**仏ソ相互援助条約**を結ぶ

※ドイツの再軍備宣言を受けて，フランスとソ連が結んだ条約。

1935 年　モスクワで**コミンテルン第７回大会**が開催される

※ドイツのファシズム台頭に対して，反ファシズムが協力して民主主義を守り，戦争を防ごうとする〔　　　　　　　〕の形成を提唱。

→フランスに影響を与えた

1935 年　共産党，社会党，急進社会党が**人民戦線**を結成

1936 年　社会党の〔　　　　　〕を首相とする**人民戦線内閣（政府）**が成立

※フランス版ニューディールともいわれる大規模な公共事業を実施。

コミンテルンの主要メンバー

まとめ

ポンドの金本位制を廃止し，ブロック経済を敷いて排他的経済圏を形成した。

フランスは人民戦線を形成し，ファシズムに対抗した。

第 19 講　PART 1　確認問題

1 1929 年に株価大暴落がおこったウォール街は，どこの都市にあるか。

① ロンドン　② モスクワ
③ ニューヨーク　④ フランクフルト

2 恐慌対策として，ニューディールと呼ばれる経済復興政策を推進したアメリカ大統領はだれか。

① セオドア＝ローズヴェルト　② フランクリン＝ローズヴェルト
③ フーヴァー　④ ウィルソン

3 ニューディール政策の一環として制定された，労働者の団結権と団体交渉権を保障する法律はどれか。

① ワグナー法　② 農業調整法
③ 中立法　④ ローラット法

4 ローズヴェルト大統領が，ラテンアメリカ諸国に対して展開した外交政策はどれか。

① ドル外交　② 棍棒外交
③ 善隣外交　④ 宣教師外交

5 1933 年にアメリカが承認して，翌年，国際連盟に加盟した国はどこか。

① ソ連　② キューバ
③ フィリピン　④ メキシコ

6 イギリスで，1931 年に保守党，自由党と結んで挙国一致内閣を組織した人物はだれか。

① スペンサー　② グラッドストン
③ ディズレーリ　④ マクドナルド

7 イギリスのブロック経済政策はどれか。

① ドル = ブロック　② スターリング = ブロック
③ フラン = ブロック　④ 日満経済ブロック

8 1936 年に人民戦線内閣を組織したフランスの首相はだれか。

① ケロッグ　② ブリアン
③ ブルム　④ クレマンソー

第19講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③
ウォール街は**ニューヨーク**のマンハッタンにある。ここには証券取引所があり，証券会社や銀行など金融機関が集中している。

2 解答：②
民主党の**フランクリン＝ローズヴェルト**は 1933 年に大統領になると，ニューディール（新規まきなおし）政策を実行した。

3 解答：①
労働者の団結権と団体交渉権を保障した**ワグナー法**は，1935 年に制定された。

4 解答：③
ローズヴェルト大統領は従来の高圧的なカリブ海政策を改め，**善隣外交**を展開した。

5 解答：①
ソ連は 1934 年に国際連盟に加盟した。

6 解答：④
マクドナルドは 1924 年と 1929 年～ 31 年に労働党内閣を，1931 年～ 35 年に挙国一致内閣（自由党と保守党の連立政権）を組織し，首相を務めた。

7 解答：②
スターリング＝ブロックとは，貿易の決済をポンド通貨（スターリング・ポンド）で行う経済圏のことで，イギリスを中心に自治領，植民地で結成された。

8 解答：③
フランスでは，1936 年に社会党の**ブルム**を首相として人民戦線内閣が成立した。